

さくぎ町民だより



香淀双子イチョウ

1月号

発行 （一社）作木町自治連合会

三次市作木町下作木905-2 文化センターさくぎ

TEL 0824-55-2115 FAX 0824-55-7010

メールアドレス bs.sakugi@pl.pionet.ne.jp



ホームページQR

新年あけましておめでとうございます
（一社）作木町自治連合会

理事長 瀧奥祥二郎

町民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より自治連合会の活動に格別なるご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、全国的に地震や火災が多発し、多くの方が被災されました。いつ起きるかわからない災害に備え、日ごろからの防災対策の大切さを感じていくところです。

また、お米や光熱費などをはじめとする物価高は、日常生活に深く影響を及ぼしているとともに、熊や猪、猿、鹿などの獣害も深刻な状況となっています。

ほかに人口減少、農地や山林等の荒廃、集落機能の維持の課題、学校の再配置計画に対する地域からの心配の声など、さまざまな課題があり、将来にむけて住みやすい作木町となるための取り組みが必要です。

現在、作木町の基本計画である、まちづくりビジョンが今年度末で終了するため、新たなまちづくりビジョンを策定しています。

その中では様々な課題解決にむけたものとなることをめざすとともに、町民の皆さんが希望を感じ、住みよいと感じる計画となるよう進めてまいります。

そして、その内容を次世代に引き継ぐことが大切だと感じています。

昨年、作木町自治連合会は設立20周年を迎えました。これからも引き続き町民の皆さまの要望をお聞きし、行政・各種団体と連携して、課題解決に向けて進んでまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、令和8年が町民の皆様一人ひとりにとって輝かしい年となりますことを祈念し、新春のご挨拶とさせていただきます。

まちづくりビジョンの策定にむけて

作木町のまちづくり計画であるビジョンは令和3年度から5年間実施し、今年度で終了します。このため、来年度から5年間の新たなまちづくりビジョンを策定することとなりました。

策定委員会は上地区、中地区、下地区から各1名の住民の皆さんと三次市作木支所、自治連関係者で構成しています。

先日、策定作業の事前研修として、市教育委員会教育部の豊田次長を講師に迎え、ビジョンづくりで大切にしたことやポイント、そしてヒントになる活動事例を聞くことができました。



策定作業事前研修会



策定委員会で解決したいテーマに各自が意見や思いを記入



後日の策定委員会で、新たなビジョンを作成するにあたり、解決したいテーマに各自が意見や思いをカードに記入し、意見交換を行い、まちづくりの全体像をまとめていきました。

このまちづくりビジョンは年度末までに策定を終え、公表する予定にしています。

作木町自主防災会 防災講演会

11月23日（日）に文化センターさくぎで開催し、16人の参加がありました。

当日は、防災士の室津一之さんから災害への備え方について講演をいただきました。

講演では、近年の竹原や福山で起きた豪雨災害を例に、災害のリスクや避難への備えとして、明るいうちから避難行動をとること、2階への垂直避難も効果的であること、家庭でもできる対策として3日分の食糧備蓄を心がけることなどについて話されました。



室津 一之さん

また災害には想定外はなく「自分の命は自分で守る」ことを心がけ「助け合い」や「声かけ」などの仕組みを日ごろから作っておくなど、災害への備えの注意点や普段からの心がけなどについてわかりやすく講演されました。

備えておこう！

非常時持出品・備蓄品は、次の用品が必要といわれています。各自で必要と思われる物をご準備ください。

- ・食料品
- ・水、缶詰、麺類など
- ・防寒用品
- ・カイロ、毛布など
- ・安全用品
- ・懐中電灯、充電器など
- ・健康管理品
- ・常備薬、消毒液、マスクなど

相続登記の申請に むけた相談会

11月19日（水）不動産の相続登記に関する相談会を開催しました。

相続登記が令和6年4月から義務化されたことにより、行政書士の古川充さんをお招きし、個人を対象として実施しました。

当日は5名から相談がありました。

作木町書道展に ご来場ください

開催日

令和8年1月15日（木）
から29日（木）まで

会場 文化センターさくぎ

「展示スペース」

今回も小中学校の児童・生徒の作品や一般の皆さんの作品を展示します。どうぞご覧ください。



親睦旅行に 行ってきました

行ってきました

峠上区



昨年の11月30日に瀬戸田町の平山郁夫美術館に行きました。当日は天候も良く、バスも備北交通のお計らいにより、バスガイドさん付きで楽しい旅行となりました。

平山美術館は、平山氏のしまなみ街道をスケッチした晩年の作品と幼少の頃の作品を中心に展示されており、改めて感動しました。

さて、次はお楽しみの昼食です。隣の岩城島にフェリーで渡り、新鮮な海鮮料理で参加者は笑顔で頂きました。帰りは、恒例のみかん狩りと楽しい一日を過ごし、親睦を深めることができました。

（横山 善雄）

これからの課題

大津区

新年明けましておめでとうございます！！

新しい年を迎え心機一転と気持ちを切り替えやって行きたいところですが、中々そんな事が運びそうも無く、大津区の人口も減る一方で空き家も増え、今おられる区民も年々歳を取られており、無理を言って協力を得る事もままならず、近年では大津区の行事ごととはほぼ何もやっていません。

そう言った状況下の中、大津区の予算も段々と減って来ていて、今では大津区集会所の維持も危うい状態になって来ています！！

コレは、大津区に限らず他の地域でも今後起こり得る事だと思えます。ですが、何をどうすれば良いかも分からず、出来ずに今に至ってます！！

今では、集会所の閉鎖も視野に入れてどうすれば良いかを検討しています！！

（島田 潤）

小中学校再配置計画について

三次市教育委員会は、令和7年3月に「三次市立小中学校のあり方に関する基本方針」を策定しました。

今回この基本方針の概要と、併行して進められている学校再編について、市教委の説明資料を基に状況をお伝えします。

■小中学校の現状と課題

○児童生徒数は減少傾向にあり、小学校21校の内18校が、中学校12校の内9校がクラス替えができない学校となっている。

○いじめなどのトラブルの増加や特別支援学級も増加傾向にある。

○教職員は、定数配置に加えて非常勤講師を加配しているが、完全複式の小学校では担任の負担が大きくなりつつあり、中学校では教科担任が不足し配置が厳しい状況がある。

■小中学校のあり方に関する基本方針

こうした現状のもと基本方針では、
・子どもの学習意欲を引き出す学校づくり
・地域の魅力を実感できる

教育

・家庭や地域が協働した学校づくり
・教員のやりがいや子どもとの対話を重視した教育

を「めざす学校教育」として掲げた。

その実現のため「魅力ある学校づくり」として、次の基本的な考え方を示した。

○学びの選択肢の広がり
特色ある教育の展開や「小規模特認校」「学びの多様化学校」の導入

○めざす学校の規模
【小学校】すべての学年で単式学級とし、1学年の児童数は10名以上とする。

【中学校】全学年でクラス替えが可能となるよう1学年2クラス以上とする。

■学校再配置計画

作木町では、作木小学校及び作木中学校が再配置計画の対象校となり、両校の再編年次が示された。実施には、保護者など関係者と丁寧な議論を行なって進めるとしている。

○作木小学校 令和10年4月に三次小へ再編
○作木中学校 令和9年4月に三次中へ再編

■主な経過（市教委の対応）

○作木小中保護者

5月19日 保育所・小中学校説明会で「基本方針」を説明

9月9日 小保護者役員会、中保護者代議員会で通学対策に関する検討状況を説明

10月7日 小保護者会が市教委へ「要望書」を提出

10月30日 市教委から小保護者会へ「要望書」の書面回答があった。

○作木町内一般住民
5月30日 住民説明会で「基本方針」を説明

8月6日 市政懇談会で「基本方針」について意見交換

12月11日 自治連理事會報告会で検討状況を説明

【主な住民の意見】
・通学時間（特に下地区）が長すぎる。
・学校がなくなると地域がさびれる。

■通学対策（市教委の案）
○通学手段
スクールバスを運行（登校時1便、下校時は基本2便、運動会等行事も運行）
○運行経路
【令和9年度】中学生を対象に、「県道庄原作木線（便坂）ルート（めんがめ

発着）」〈所要時間約50分〉

【令和10年度】小中学生の混乗（三原町、日下町での混乗も想定）とする2ルート
「県道庄原作木線（便坂）ルート（川の駅発着）」〈所要時間約40分〉

「国道375号線（江の川）ルート（めんがめ発着）」〈所要時間約50分〉

○乗降場所
安全が確保できる場所で、保護者との協議により決める。

○運行時刻
学校の日課表をもとに案を作成する。

○通学費用への支援
スクールバス利用の保護者負担はない。

作木町はスクールバス運行区域となるため「小中学校遠距離通学費に関する補助制度」の対象外となる。

○その他
現在、作木町内から三次中学校へ通学している生徒もスクールバスの対象とする。

実施にあたっては、保護者と合意内容を書面で確認する。

運行にあたっては試乗を行う。

■今後の町内スケジュール

○令和8年1月～3月

市教委が小中保護者へ説明会を開催。
中学校の学校再配置に関する書面合意

○令和8年4月～
中学校の学校間交流、通学内容協議、通学に関する書面合意

○令和8年11月～
中学校の通学バス試乗

○令和9年3月
通学バス運行に関する保護者通知

○令和9年4月～
学校再配置、通学バス運行開始

※作木小学校は令和10年度の学校再配置にむけて、作木中学校の取組スケジュールを参考に進める。

以上、学校再配置に関する概要をお伝えしました。

自治連では通学などの問題について、保護者の意向に協力していくとともに、一方で、地域の活力低下などの問題の対応について話し合いを持ちながら、市へ協議や要望を行なうなど取組を進めていきます。

ご意見などありましたら自治連にお寄せください。

史跡・名所・歴史めぐりツアー開催

自治連合会主催による史跡・名所・歴史をテーマにした町内を巡るツアーを11月17日に行いました。

今回のツアーは、作木小学校の地域学習の一環として、ツアーの企画をはじめ、宣伝、案内役などを、すべて小学校の子どもたちが自分たちで考え、実践することを目的としたツアーでもありました。

当日は、作木小学校5・6年生が「伝説会社」という模擬会社を作り、その会社の社員である子どもたちが、ガイド役に扮して、町内にある名所や見どころを14人の一般参加者に案内しながら、バス2台で町内を巡りました。



東光坊↑ 殿敷↓



最後は、子どもたちから参加者へ作木にちなんだ手作りの飾り物のプレゼントがあるなど、参加者は「子どもたちと楽しいひと時を過ごし、作木の良さを再発見できた」と満足そうでした。



常清滝

コースは午前中、東光坊、常清滝、川の駅、香淀の大イチョウを、午後からは、作木郷土資料館、女亀山が見える場所、殿敷を巡りました。児童が調べた豆知識をクイズ形式で参加者へ紹介したり、常清滝ではみんなで笹舟を作り、清流へ浮かべ競争を楽しみました。

作木消防から

新年あけましておめでとうございます。昨年は町内の火災予防に対し、多くのお力添えをいただきありがとうございました。

本年は火災の無い一年となりますよう、皆様の御協力の程よろしくお願いします。



◎火災と救急は

119番

三次消防署

作木出張所

Tel55-3109

火災・救急の件数

11月 火災0件・救急2件

12月 火災0件・救急5件

令和7年の火災・救急件数

火災1件・救急150件

消防団作木方面隊 火災の無い 明るい一年に！



次回の町民だよりは
3月に発行します

12月28日から30日までの3日間、作木方面隊の年末警戒が行われ、夜間の巡回と防火の呼びかけに務められました。

1月11日（日）には三次市消防団の出初式が十日市親水公園で行われ、市内の各方面隊の団員が集い、火災のない一年を願いました。

皆さまのご協力をお願いします。

三次の住まいの相談室 しんわホーム

リフォーム・新築・増築

土地・建物の賃貸売買

給排水工事・電気設備工事

宅地造成・維持修繕

フリーダイヤル 0120-344-130

定休日

日曜日

営業時間

9:00 ~ 18:00

